



## 事業概要シート

### 【活動指標】

指標名		単位	R2 (実績)	R3 (計画)	R4 (計画)	R5 (計画)	R6 (計画)
①	家庭系の燃やせるごみ搬入量 (収集量+自己搬入量) [基本計画目標値]	計画値 t	16,643	16,263	16,363	16,433	16,533
②		計画値					

### 【成果指標】

指標名		単位	R2 (実績)	R3 (計画)	R4 (計画)	R5 (計画)	R6 (計画)
①	1世帯当たり可燃物ごみ量(搬入量) (家庭系の燃やせるごみ搬入量÷世帯数)	計画値 kg	376	424	424	424	424
②		計画値					

### 【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	合計
事業費	45,930	41,001	51,111	61,806	61,806	61,806	323,460
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他	45,930	41,001	51,111	61,806	61,806	61,806	323,460
一般財源							0
人件費	1,091	1,091	1,091	1,091	1,091	1,091	6,545
職員(人)	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.90人
時間外勤務(h)							0h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	47,021	42,092	52,202	62,897	62,897	62,897	330,005

妥当性 (市の関与)	排出者責任の徹底、ごみ減量化の意識の向上及びごみを多量に排出する者と少量しか排出しない者との負担の公平化からも妥当である。 ごみ処理は市に義務付けられている。
有効性 (施策貢献度)	市民の分別排出の協力により、一世帯当たりのごみ排出量はほぼ横ばいである。
効率性 (コスト)	指定ごみ袋の製造は入札により発注している。 指定袋の代金については、現時点では見直しの予定なし。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり